PTAよこはま

第171号

横浜市Ｐ連ＨＰの
２次元コード

発行日／2023年2月10日　発行者／横浜市ＰＴＡ連絡協議会　横浜市西区花咲町6−145 横浜花咲ビル3階　編集／2022年度 常置広報委員会

第14回 横浜市Ｐ連 三行詩コンクール

三行詩コンクールは、毎年夏に市Ｐ連が募集している家族で参加できるイベントです。日頃の想いを三行程の短い言葉で綴る三行詩。今年のテーマは、「命の大切さ」「みらい」「家族のきずな」でした。

応募総数７６５作品の中から選ばれた34作品の表彰式が、２０２２年12月17日横浜市教育会館で行われました。

当日は賞状授与の後、受賞者一人一人からのコメントがあり、それぞれの作品の背景や受賞の喜びの声を聞くことができました。

何気ない毎日の中でかける・かけられる一声の大切さ、反抗期に戸惑いつつ少し離れて見守る親心、海外の状況を報道で目の当たりにして命の大切さを詠んだ詩も心に残りました。

また、今年は行動制限が解除された年でもあったため、家族との触れ合いや久しぶりに会えた嬉しさから生まれた作品、さらに、より前向きにみらいを見つめた作品も多く見られました。

普段なかなか言葉にできない気持ちを込めた作品は、どれも心の温まるものばかりで、表彰式の間、会場中が笑顔と共感に包まれていました。三行詩は、家族のきずなを深め、また多くの人に思いを届けることができる素晴らしいものだと実感できた瞬間でした。式の後では受賞者やその家族が談笑する姿も見られました。

毎年ご家族で応募してくださる方も多い三行詩コンクール。来年も多くのご応募をお待ちしております。

横浜市ＰＴＡ連絡協議会のホームページにて今回の受賞作品(佳作含む)を掲載しております。ぜひご覧ください。

教育長賞

「そうちゃん　ゆたんぽみたい」
ぼくにくっつくおじいちゃん
ぼくのこころもポッカポカ

川上小学校１年　加藤蒼太

おじいちゃんも「良かったじゃん」と喜んでくれました。

弟の特等席は私のひざ
だからいつも２人のり車いす
いつまで２人のりできるかな

上菅田特別支援中学校３年　空久保陽帆

姉弟ふたりで受賞できて「嬉しいです」。

起こしても
起こさなくても怒ってる
トリセツ欲しい反抗期

一般(軽井沢中学校)　なおちゃんがんばれ

反抗期が続いていてもふたり一緒で。

会長賞

かぞくといると、心があったかいね。
かなしいことも、
さびしいことも、わすれちゃう。
かぞくっていいね。
峯小学校1年　すみめいこ

おばあちゃんちからかえるみち
さみしいな　かえりたくないな
でもままに　あいたいな
峯小学校1年　よしむらはるま

まいにち　がっこうへいける　しあわせ。
いやだなと　おもうこともあるけど、
それは　みらいへつづく　ぼくのみち。
桜岡小学校1年　はやしゅうた

わたしがわらうと
おとうともわらう
かぞくでつなぐ
えがおのバトンパス
戸部小学校2年　植田ひかり

足の下小さな命が歩いてる
せっせせっせとはたらいて
ぼくはふまないように歩きだす。
三ツ沢小学校3年　石川煌月

耳にのこる「だいすき」の言葉と声
ママからの毎日のおくり物
私の心と耳にいつまでも
相武山小学校3年　佐々木結衣

自分と友だちのみらいはちがうけれど、
どこの国でもせんそうのない平和な世界。
そういうみらいがいいな。
八景小学校3年　梅原知明

じいじの心ぞうがなおらないびょう気になった。
わたしが一番のくすりだとばぁばが言った。
元気になぁれ。
荏田南小学校3年　太田明里

休校で私のこころどんより雲
その時生まれた小さな命
こころはどんどん晴れていく
さちが丘小学校4年　原優歌

仏だんのおそなえ物
おばあちゃんの好きな物でいっぱい
きっと「食べきれないよ」と言ってるね
小田小学校5年　田村颯大

私の聞いてる皆の笑い声、
あの子が聞いてる周りの銃声。
同じ時が流れているのに　なぜだろう。
山下小学校5年　野島彩朱

生きているから痛み感じる
生きているから幸せ感じる
生きているから楽しさ感じる
不動丸小学校6年　ハッピー

友達の苦手は、私の得意でカバーする。
その逆だってある。
ありがとう、一緒だと勇気が出るね。
上菅田特別支援中学校3年　黒野小春

「いってらっしゃい」
眠くても、毎朝必ず父を見送る
それが、私のルール
今宿中学校3年　岡本紗奈

「はい、ママ」とお茶をくれた長男
こぼした牛乳を自分で拭く次男
漢字なんか書けなくもいいって思えた夏
一般（川上小学校）　當間梓

コロナ禍で家事する機会が多くなり、
妻の笑顔が増えました。
息子と一緒に「家事力向上」
一般（相武山小学校）　弘岩雅規

奨励賞

横浜市Ｐ連奨励賞

芹が谷南小学校1年　小泉明咲
不動丸小学校3年　田中和美
東中田小学校3年　大澤拓夢
中和田小学校3年　とりはたよしの
桜岡小学校3年　金谷美玲
義務教育学校　西金沢学園小学部3年　大和田咲希
八景小学校5年　髙橋紗寧
相武山小学校5年　細谷りこ
永野小学校6年　小泉慶修
小田小学校6年　山本偲遠
境木中学校2年　遮光器土偶
一般（港南台第一小学校）　ひよっこ
一般（日限山中学校）　松浦典子
一般（川上小学校）　野頭保子
一般（新治小学校）　河本千鶴

受賞おめでとうございます。
たくさんの応募ありがとうございました。

「三行詩コンクール」応募から表彰までの流れ

6月
「実施要項」発表

7月初旬～9月初旬
「作品募集」

9月下旬～11月
「一次・二次審査」

12月初～中旬
「発表・表彰」

入選作品は市Ｐ連ホームページおよび
「PTAよこはま」に掲載・
表彰式を行い、賞状と記念品を贈呈

来年度も奮ってご応募ください！

ここに母校あり～未来に羽ばたけ～

横浜市立 盲特別支援学校

盲特別支援学校は明治21年に創立し、昭和25年に横浜市に移管されました。創立134年を迎えました。目が見えにくい、見えないために専門的な指導を必要とする幼児・児童・生徒に対し、幼児教育・義務教育・高等学校教育及び職業教育（あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう）を行う学校です。また、本校は神奈川小学校に弱視通級指導教室が設置されています。

校舎は、JR横浜線「大口駅」、東横線「妙蓮寺駅」、京急線「子安駅」から黄色い点字ブロックの敷設されたスクールゾーンを通り、坂道を上った港が見える丘陵地（神奈川区松見町）にあります。横浜ベイブリッジやランドマークタワー、みなとみらい地区の高層ビル群などが一望できます。

部活動やクラブ活動は、視覚障害スポーツであるサウンドテーブルテニス（STT）部やフロアバレーボール部（こちらは本校発祥）、陸上部、ジョギング部、文科系の陶芸部、レククラブ、音楽クラブがあります。

令和３年10月～12月に日本テレビ系で放送されたドラマ、《恋です！～ヤンキー君と白杖ガール～》の青葉市立盲学校として盲学校シーンの撮影で使われたり、多くの教職員が監修として関わりました。

PTA活動には保護者全員が、可能な範囲で毎年委員もしくは役員として携わります。取り組みの中には「進路指導部」があります。学校の進路担当と連携して、卒業後の進路に向けて作業所施設見学や勉強会の企画開催、情報資料の管理をしています。PTA活動を通じて学年や学部を超えた保護者間の情報共有の場にもなっています。一貫校ならではのメリットです。

本校のマスコットキャラクター《しもん》が学校ホームページ内で様々な情報を発信しています。文化祭・理療祭は毎年10月に行われ、舞台発表や作品展示に加え、実習で作る陶器や点字用紙を再利用したお年玉袋、封筒などを販売しています。専攻科の学生によるマッサージも好評です。

学校のホームページ

『コダフルエコプロジェクト』

横浜市立 小田中学校 Koda Junior High School

～廃棄物をより良い製品に変えるアップサイクル～

コダフルエコマーク

「持続可能な社会の創造に貢献する力」の育成を目指す小田中学校は、様々な教育活動を展開しています。その中で廃プラスティック問題に関して中学生でもできることとして、生徒会本部がリーダーシップを発揮し、「コダフルエコプロジェクト」に取り組んでいます。子ども達の熱意に打たれ、保護者・教職員も全面的にサポートしています。

使われなくなった傘が蘇るまで

具体的な活動内容は、廃棄予定のビニール傘をアップサイクルして新しい製品にすることで「プラごみを減らそう！」というものです。傘は、鉄道会社から約400本、小田小学校、地域の方々からも寄付していただいています。

作業中の保護者の方々

生徒達が傘のビニールの部分を丁寧に外して洗い、保護者・教職員・PTAがそのビニール部分にアイロンをかけ、ミシンでポーチやバッグ等に生まれ変わらせていくのですが、保護者の方達も、とても熱心に作業をされていました。生徒達も休み時間や放課後の隙間時間を使い、大量のビニール傘の解体や洗う作業、アイロンかけを主体的にとても頑張っているとお聞きしました。

かわいい‼

今後、アップサイクルした製品で集まったお金を、国際貢献活動をしているNPO法人に寄付することで、持続可能な社会のために貢献出来たらと考えているそうです。

PTAでもSDGs活動の貢献に繋がる、国連WFP協会「レッドカップキャンペーン」（飢餓や貧困で苦しむ世界の子ども達を救うための、学給食支援に繋がる活動）に参加しています。

運動会や土曜参観でチャリティーブースを設置し、モチーフである「レッドカップちゃん」の赤いカップを販売して、集まった募金や売上を寄付しているそうです。

取材を通して、生徒達の行動力や発想力、子ども達を支える周囲のサポート力、どれを取っても素晴らしく、一つになって取り組む姿に感銘を受け、見習うべき素敵な学校だと思いました。

浜中に未来（MIRAI）が来た?!

横浜市立 浜中学校 Hama Junior High School

令和４年11月17日午前、磯子区の浜中学校に６台の自動車が現れた。横浜トヨペットさんの協力で、トヨタの「カローラ」2台、「プリウス」2台、そして注目の車が2台登場した。それが「MIRAI」だ。校庭に並べられた6台の車に生徒そして先生が群がる。トヨペットの方々からそれぞれの車の特徴を聴き、そしてドヨメキと歓声があがる。ここは本当に中学校なのか。

Wao!! MIRAIに群がる生徒と先生

生徒が作った教材の表紙

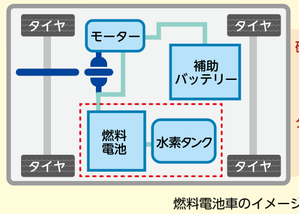
浜中ではSDGsがあたりまえ

浜中学校では、SDGsを全体道徳の対象と捉え、生徒を主体とした『SDGsプロジェクトチーム』を結成。学校とPTAが協力し、その学びを深めている。昨年はフードロスをテーマにしたが、3年目となる本年は17の目標のうち、トヨタの地球環境への取組みが7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」・13「気候変動に具体的な対策を」・15「陸の豊かさを守ろう」にあてはまる。これを本年の研究課題とした。コロナ禍で外部の方を招いての講演等が困難な状況の中、担当教諭の努力で横浜トヨペットの協力を得ることができたので、本年度は燃料電池車*から学ぶカーボンニュートラルを達成する環境保全をメインテーマにおいた。実物を体験し、講義やグループワークで理解を深めることで、目標達成の意識を持った。

また、トヨタの社員から直接に話を聞くことで、前述の3目標に加え、3・9・16の目標の「幸せにくらせる社会」の実現に向け独自の取組みから5・8・10の目標も学習した。

今回の取材の感想として、先生方は興奮していたが、生徒は意外と冷静に観察しており、燃料電池車が普及するには、色々な問題があり、彼らが18歳になってもMIRAIはまだまだ夢の乗り物なのだと知っていたことである。「浜中にMIRAIが来た。」といっていたが、いろいろな意味でそれは近い未来のことなんだということを知っていたことだった。

＊燃料電池車≪FUEL CELL VEHICLE≫水素と酸素を化学反応させて発電し、その電力で電動機を動かし、走行する自動車で、燃料電池とは、水素と酸素の化学反応（水の電気分解の逆反応）で発電する技術。



燃料電池車のイメージ図

破線部が、ガソリンタンク＋エンジンになるのが**ハイブリッド車**です。

タンクやエンジンが無く、バッテリー容量を大きくしたのが**電気自動車**だよ

みなみよしだしょうがっこう 南吉田小学校の「あたり前」まえ

横浜市立 南吉田小学校 Minamiyoshida Elementary School

これぞ南吉田小を表すスローガン！

●南吉田小学校の「勉強」って…

独自に作った算数検定や漢字検定を全児童が受ける。1年生から1級を目指し、長期休みの宿題の中で範囲が分からない50問テストを合格するまで続ける。他にもデジタルドリルで空時間に5教科の勉強。タブレットでの作文も中国語、英語なんでもOK。それが南吉田小学校のあたり前。

●南吉田小学校の「会話」がすごい…

「ちびっこ通訳・翻訳家」がたくさんいる。その姿はまるで通訳士のようでカッコイイ！それが毎日あたり前。毎日と言えば校長先生が毎日ホームページを更新している。学校の楽しい様子が伝わって毎日チェックしちゃう。

●南吉田小学校の「運動会」は…

自主的に全員参加でいろんなプロジェクトがある。特に5・6年生が中心となって立ち上げ係りごとに仕事を分担、児童全員で学校全体の飾り付け。先生方の影の努力で盛り上がる雰囲気作りがさらにアップ！

そして聖火リレー‼学校には現在22か国の外国につながる児童がいる。開会式に民族衣装を着る。バトンを聖火にみたて、グラウンドを一周し聖火を灯す。かかげる旗も22か国。放送席は児童が6か国語（日本語、英語、中国語、タガログ語、タイ語、韓国語）で放送。まさにオリンピック！

●南吉田小学校の「イベント」は…

親子で料理教室（コロナ前）や中国語、韓国語教室がある。料理教室は中国人のお母さんが皮やタレを手作りで大きな水餃子を作ってくれた。教室に入りきらない人が参加、水餃子を20個も食べる子まで！韓国料理のキンパも作った。韓国語教室は自己紹介のほか、名前も書けるようになる。先生はもちろん「子どもティーチャー」。来年は親子で参加に期待（保護者談）。

●つまり南吉田小学校は…

お神輿、例大祭、酉の市とお祭り好きな近くの横浜橋商店街には、南吉田小出身の祖父母、親、子、孫の流れが脈々と115年（明治38年創立）続いている。そんな地域の先輩方が学校や育友会（PTA）を支えている。南吉田小学校の一番の自慢。

南吉田小学校は昔と今、そして未来へとつながる横浜の歴史の一つ。それを「あたり前」と思っている毎日が横浜の新たな歴史となる「実はすごいこと！」だとは、「あたり前」の日々を送っている南吉田小学校に関わる人達は、気づいていないかもしれない。

みんなの学校の「あたり前」も
素晴らしい横浜の歴史につなげよう！

注：南吉田小学校は多国籍対応のためふりがな付です。

金子校長先生（右端）と育友会（PTA役員）の皆さま。
真ん中はマスコットの「ロボライオン」

ウチの学校推し！project

『地元の商店街二谷通り 商栄会とコラボ』

横浜市立 二谷小学校 Futatsuya Elementary School

横浜市立二谷小学校は、「みとめ合い　学び合い　高め合う子」を教育目標に掲げる、1905年設立の歴史ある小学校です。東急東横線「東白楽」駅から徒歩５分、JR京浜東北線・横浜線「東神奈川駅、京急線「京急東神奈川」駅から徒歩７分ほどの場所にあり立地が良い場所にあります。

一方、学校、地域、PTAが協力し合い、アットホームな学校でもあります。PTAの特色では、イベント委員会があり、秋祭りを企画しています。

６年生総合の学習の時間で、地域商店・商店街とコラボ例を紹介します。

一昨年は、近隣のパン屋さん「ローゼンボア」とオリジナルパンのコラボ。学校で飼育しているウサギ、スキップとステップをモチーフに。完成品はPTA秋まつりにて販売しましたが、あまりの人気に店舗にて再販期間を設けることになりました。

ロゴマーク作成

オリジナルパン「スキップ」と「ステップ」

昨年は、地元の商店街「二ツ谷通り商栄会」とコラボ。商店街の会長から話を聞き、グループごとにロゴマークを作成。コンテストはタウンニュースにも掲載していただき、一位を決定。ステッカーを作成し、卒業ギリギリに６年生みんなに配ることが出来たそうです。

“子どもは地域の宝”と言う共通認識で、先生と生徒、地域の方々、PTA保護者は気持ち良く協力出来ていると、今回の取材で感じました。

イベント風景

つなげる思い つながる輪 ■思いをつなげる虹の架け橋 —壁画アート—

横浜市立 下野庭小学校 Shimonoba Elementary School

子どもたちの元気な挨拶がこだまする昇降口で、ひときわ目を引くカラフルな壁画。2020年、コロナ禍で学校行事の多くを失った当時の６年生が「記念に何か残したい」と発案し、黒木英晴校長先生に相談したのが始まりでした。校長先生が考えた末に連絡した相手はロコ・サトシさん。ウォールペイント先駆者として知られ、横浜市の姉妹都市・サンディエゴにゆかりのあるアーティストです。

四季を表現した校歌の歌詞にちなみ、背景が４色に塗られた壁画アート（高さ2.8m・幅8m）

卒業生が塗装に協力してキャンバスに仕立てた壁に、ロコさんが月・太陽・星を描き、子どもたちは虹で１つにつなぎました。その下には校歌が綴られた色とりどりの短冊が楽しそうに揺れています。反対側の壁面には、校章を象ったモチーフのほか、サンディエゴを象徴するビル群や動物園が描かれています。感性豊かな子どもたちの絵が賑やかに加わり、心弾むアートが完成しました。

最近ではサンディエゴのジャズバンドが来校するなど、壁画アートをきっかけとした新たな交流も生まれています。平和への願いが込められた大きな虹はたくさんの思いをつなげる架け橋のごとく輝いていました。

「2022ジャパンカップ　全国小学生選手権大会」優勝、「第50回マーチングバンド全国大会」金賞受賞のマーチングバンド

■人がつながる マーチングバンド

同校は、マーチングバンドの強豪校としても知られています。創設33年目で親子２代にわたる部員もいるそうです。１年生から６年生まで総勢51名が、地域のイベントや全国大会出場に向けて、日々努力し結束力を高めています。練習を通じた他学年との交流は、特別クラブならではの魅力です。

担当の荻野瞳先生は「練習の見守りから部費の管理、衣装や小道具の製作にいたるまで、保護者の協力あっての活動です」と感謝の言葉を口にします。選曲については「大人になっても思い出に残る曲を選んでいます」とのことで、そこには自身も幼少期からマーチングに親しみ、多くの学びを得てきた荻野先生ならではの温かい気持ちが込められています。保護者と学校が両輪となって活動を支えるマーチングバンドには、たくさんの人のつながりがあります。そして、青空に響く明るく華やかなメロディーは、地域の人々を笑顔にし、まちと学校をつなぐ役割を果たしています。

PC、スマホ、タブレット…いつでも どこでも
神奈川新聞電子版

神奈川新聞の購読（電子版・本紙宅配）のお申し込みは
ウェブサイト「カナロコ」へ
www.kanaloco.jp
カナロコ　検索
神奈川新聞社デジタルビジネス局
☎045-640-0125（平日の10時～18時）

オンラインでもお申し込みいただけます!!
お申し込みはこちら

横浜市P連 子ども総合保障制度
当制度は、児童・生徒のケガや賠償事故等、日常生活中に想定される様々なリスクに対応した総合保障制度です。
●このご案内は、制度の概要を説明したものです。
特長その1 市P連の団体契約だから、約33%割引 ※当社における当該保険料の基準となる保険料に対しての割引率表示となります。
特長その2 児童・生徒のほかご家族の自転車事故や偶然な事故による個人賠償責任も最高 無制限（国内）で補償（示談交渉サービス付き）
特長その3 お子さまのおケガを1日24時間補償（学校が休みの日も補償）
特長その4 お子さまが日射・熱射によって熱中症を発病した場合に補償
特長その5 地震・噴火・津波によるケガも補償（葬祭費用も補償）
特長その6 ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で10万円以下のご請求は電話のみで簡単請求（※ご利用にあたって諸条件があります。）
2023年2月現在の内容です。
※プランによってセットされている補償内容や保険金額が異なります。詳しくは以下連絡先へお問い合わせください。
制度に関するお問合せ先　株式会社 ジーアンドケイ・アンシエイツ「子ども総合保障制度」係まで
TEL：0120-916-818（通話料無料）　受付時間：9:00～17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）
引受保険会社：AIG損害保険株式会社　S-230252　(2024-02)

第66回 音楽交歓のつどい

11月28日（月）・11月29日（火）の2日間、横浜市教育会館（西区）において、実に3年ぶりの「PTA音楽交歓のつどい」が開催されました。

このつどいには66回という歴史があります。今年度は総勢19グループが参加し、日ごろの練習の成果を余すところなく発表しました。

ようやく再開にこぎ着けたこのつどい。参加されたみなさんからは、「歌える場所が無い」「そもそも歌うこと自体が憚られた」と、中止期間中に抱えていた葛藤をお話しいただけました。「またみんなで歌えるのか不安だった」と口にされた方もいらっしゃいました。

だからこそなのでしょうか。この日の舞台上は緊張感よりも、前向きな言葉たちをたくさん聴かせていただけて、その想いが歌に乗って響き渡っているようでした。

「笑顔で歌いたい」「一緒に歌えて嬉しい」「みなさんの前で歌えることが、こんなにも待ち遠しかったことはありません」

インタビューでは苦労話よりも、前向きな言葉たちをたくさん聴かせていただけて、その想いが歌に乗って響き渡っているようでした。

ジャンルを問わない選曲と個性的なアレンジ。舞台の使い方もオリジナリティに溢れ、そこから溢れる美しいハーモニー。親子で参加されている方や、「上から下まで〇〇歳差よ！（内緒にしておきます）」と大笑いで話してくれた方々など、19組もご参加いただけました。

また、どのグループにも気持ちよく発表していただけるよう、陰で支えてくださったのが事業研修委員の方々です。充実した表情で「来年はもっと！」と決意を新たにしていらっしゃいました。

そう、「来年はもっと！」です。「もっと楽しく！」「もっと歌いたい！」…インタビューからはみなさんの「もっと！」が溢れていました。間違いなく、来年はもっと！素晴らしいつどいになることでしょう。

頑張ってくれた事業研修委員の方々

瀬谷小 PTAコーラス
久しぶりのステージで歌えて嬉しかった♡

新鶴見小PTA コーラス コール・ドリームズ
久しぶりの開催うれしかったです！

西金沢学園PTAコーラス
主催者の方々にただただ感謝しかありません

矢向小 アドバンス・アロー
仲間で一致団結しアカペラに挑戦しました

大曽根小 コーロ・ピアチェーレ
楽しく歌えるのが一番！

今宿小PTAコーラス ル・クール・ドゥ・シエル
歌うことがつながりでした！

梅林小 クリフエコー
今度は全員で！

能見台南小 コールフレール
ハーモニーきれいだったでしょ!!

東中田小 Bクレッシェンド
舞台で気持ちよく歌えました

根岸小・中PTAコーラス コールキャンファ
マスクが取れてニコニコ笑顔（^^）

永谷小PTAコーラス エリーナ
３年ぶりの開催に嬉♡喜♡楽

境木小 PTAコーラス
心と目を合わせて練習しました

城郷小 PTAコーラス部
歌える歓びと聴ける喜びに感動

西本郷小 ハッピーコーラス
子どもたちに届いて欲しい

芹が谷南小 せりなんコーラス同好会
歌詞の意味を大切に心を合わせます

南高・南高附属中 PTA合唱団
先輩の想いを紡いで歌い続けます

境木中 PTAコーラス
私達を励ましてくれた歌、届きますように

下永谷小 PTAコーラス
大切にしてきた歌、歌える喜びをかみ締めて

東戸塚小 PTAコーラス
健康の源は心と声を合わせて楽しく歌う事

第70回日本PTA全国研究大会山形大会

２０２２年８月26日・27日、３年ぶり現地に集まっての開催となりました。市Ｐ連から33名の会員が参加しました。１日目は４つの分科会に参加しました。２日目の全体会では、山形交響楽団音楽監督飯森範親氏の指揮者という仕事を通じて人とひとのつながりの大切さについての講演を聴き、コミュニケーションが大切だと改めて感じた講演となりました。

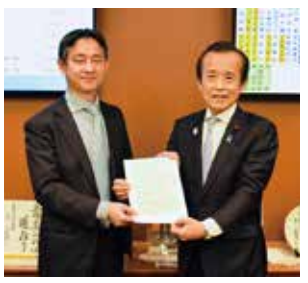
講演後は、山形交響楽団の見事な演奏が行われました。次回は広島大会です。

第54回日本ＰＴＡ 関東ブロック研究大会山梨大会

令和４年10月15日・16日に大会スローガン「みんなで生きる　みんなで育つ～この甲斐（会）から発信　子どもと大人　共に歩み　共に考え　共に創る～」のもとに開催され、市Ｐ連からは28名が参加しました。一日目は、市立西寺尾第二小学校ＰＴＡが第２分科会において事例発表をしました。二日目の全体会ではノーベル医学・生理学賞受賞の大村智理学博士の記念講演がありました。次回は令和５年10月28日・29日千葉県大会です。

教育予算の充実求め市会へ請願書提出

横浜市ＰＴＡ連絡協議会では、活動方針の一つに、教育環境の改善を掲げています。その活動の一環として、子どもたちが安全な環境の下で充実した学校生活を送れるよう、教職員等人員や学校設備・運営の増強に向けた教育予算の充実を求め、横浜市会へ請願しています。２０２２年度も11月28日、代表者が請願書を横浜市会へ提出し、12月23日に市会本会議において無事に採択されました。



編集後記

各区部から集まった広報委員、何から取り掛かればよいのかわからず戸惑いながらも力を合わせて作り上げることができました。

この『PTAよこはま』が、ご家庭での話題の一つになりましたら嬉しく思います。